



橋下府知事 「大阪ミュージアム構想」で枚方再発見

大阪府では、大阪のまち全体をミュージアムに見立て、橋下徹府知事の情報発信力を活用し、府内の歴史的な町並みや地域資源を発掘して「展示品」としてエントリーし、国内外に発信する「大阪ミュージアム構想」を進めています。私の地元・枚方市には誇れる「歴史の財」が数多くあり、同

構想」に登録できるよう9月6日、橋下知事を枚方市に招き、枚方宿・京街道、鍵屋資料館、百済寺跡、伝王仁墓、旧田中家 鑄物民族資料館の4カ所を一緒に見て歩きました。これらは、府のHP「大阪ミュージアム構想」の「橋下知事と行く大阪魅力

百済寺跡

百済王敬福は、天平21年(749)、東大寺大仏建立に際し、陸奥国産出の金を献上した功により、宮内卿兼河内守に任ぜられ、以後中宮に住み、百済寺を建立したと考えられています。伽藍配置は日本では他に例を見ない形式で、新羅の寺院建築との関連が注目されています。昭和27年3月29日に特別史跡に指定され、43年には全国で初めて史跡公園として整備されました。枚方市中宮西之町1-60

伽藍跡を説明する花村桓百済の会長、右は呉榮換韓国総領事

鍵屋は、淀川沿いの旧東海道(京街通)に面し、通り庭、起り屋根、摺り揚げ戸など、江戸時代の町家の構造を残す貴重な歴史的建造物で、船宿として天正年間(1573~92年)の創業。近年まで料亭を営業、平成9年に市の文化財に指定され、13年7月に枚方市が買い取り、「市立枚方宿鍵屋資料館」として開館しました。枚方市堤町10-27 TEL072-843-5128

鍵屋資料館

鍵屋別棟2階大広間で「宿場町枚方を考える会」と意見交換



享保16年(1731)、京都の儒学者・並川誠所が、道俊の書物をもとに、枚方市藤坂の山中にあった「おに墓」と呼ばれた2個の自然石を、4世紀末、朝鮮半島から論語と千字文を伝えたと言われる王仁博士の墓であるとし、後世に伝わりました。昭和13年顕彰規則による国の特別史跡に指定、平成5年文化財保護条例による史跡に指定。枚方市藤坂東町2

王仁墓



旧田中家 鑄物民族資料館

田中家は、文永年間(1739~)から、枚方上之町で鍋・釜や農具のほか、寺院の梵鐘などを鑄造。明治以降、近代工場がつくられてからも、伝統技術を守って営業を続け、1965年頃営業。枚方市は、大阪府指定文化財である鑄物工場と主屋の寄贈を受け、藤阪に移築・復元して、全国でも珍しい鑄造関係の「旧田中家鑄物民俗資料館」として開館しました。枚方市藤阪天神町5-1 TEL 072-858-4665



王仁塚の環境を守る会(吉留一夫会長)と意見交換。王仁墓正面での説明を受ける橋下知事や呉韓国総領事



主屋を視察。8間4間半の切り妻瓦葺きの鑄物工場前で窓が多いのは熱を放散させるため等の説明を受ける橋下知事。

